

平成29年度 地域福祉懇談会で出された主な活動および課題

開催目的	第3次函館市地域福祉計画に基づき、地域福祉の理念の普及に努めるとともに、地域福祉活動の課題や取り組み状況について意見交換を行う
開催時期	平成29年7月～12月
開催地区	第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画の日常生活圏域（東央部第2地区は広域のため2回、東部4支所管内は地区ごと）において開催（全14回）
参加対象	町会（在宅福祉委員会）、民生委員・児童委員、地域の小・中学校（PTA含む）、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーター、高校・大学生、地域の福祉活動団体等 ※在宅福祉委員会…社会福祉協議会の事業として町会地域ごとに設置されており、訪問安否確認サービスを軸に茶話会や昼食会の開催など、ボランティアで活動している組織

○多くの地域で共通して行われている活動

	現 在 行 っ て い る 活 動
地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・町会が主体となり、まつり（港まつり、夏まつり等）や関連行事（神輿、盆踊り等）の開催 ・町会等による餅つきや書初め、カルタ大会等の年末年始関連行事の開催 ・学校と町会の協働により、高齢者と子どもと一緒に美化・清掃活動やラジオ体操を行う
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と町会の協働により、小学校で高齢者と昔遊びや、授業参観等での地域への学校開放 ・幼稚園や小学校で園児等が高齢者施設等へ訪問、ボランティア活動実施
子ども関連	<ul style="list-style-type: none"> ・町会による登下校の見守り ・包括支援センターが小学校で児童を対象に認知症サポーター養成講座を実施 ・町会から加入世帯の児童へ入学祝いの配布
高齢者関連	<ul style="list-style-type: none"> ・町会、在宅福祉委員、民生委員等が中心となってサロン等の開催 ・在宅福祉委員等による見守り、声掛け、安否確認 ・包括支援センターと町会の協働で健康体操、レクレーション等の実施 ・町会から加入世帯の高齢者へ敬老の日や年末にお祝い配布

○地域ごとに行われている特色ある活動

	現 在 行 っ て い る 活 動
西部	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、子どもから高齢者まで参加の無料食事を実施し、役員が招待券を一軒ずつ直接配布している ・市から除雪機や排雪用の車両を借りて、自分たちで町内の除雪を行っている ・同一圏域内の近隣町会と協力し行事等を行うなどの交流している
中央部第1	<ul style="list-style-type: none"> ・一年くらい前から町会が自主的にサロン活動を始めたところ、子どもたちも集まるようになった ・地域の小中学校がそれぞれ町会で全町民を対象に演奏会を行っている
中央部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設にボランティア（学生を含む）が来て、一緒に餅つきをしている ・敬老の日に子どもが町内会へ行き、手紙を書いて、独居老人優先で渡している
北東部第1	<ul style="list-style-type: none"> ・町会未加入世帯へ個別に案内を出し、加入に結びついた例がある ・保育園児が町会を訪問し、高齢者と一緒に踊りをするのが恒例になっている
北東部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・神社の体育祭で世代間交流ができており、地域の養護施設が町会に加入して児童も参加している ・中学生が年賀状の裏面を書き、町会と民生委員が独居老人宅へ届ける。学校にお礼の電話が入る
北東部第3	<ul style="list-style-type: none"> ・町会地域外の子どもでも町会の行事に参加できるよう小学校にお願いし全校児童に案内を配布している ・町会役員の子ども（高校生）が親と一緒に町会役員になり、以前より面白い活動ができています
北部	<ul style="list-style-type: none"> ・町会行事の際、役員の負担を軽減するために中学生がボランティアとして協力している ・小学校で保護者が読み聞かせや学校図書のリニューアルをボランティアで行っている ・お寺の檀家が主体となり食事やレクレーションの子ども会活動を中学生ボランティアと共に実施している
東央部第1	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣町会がグループとなり、町会同士の交流を行っている ・在宅福祉委員会で、会議等へ出席不要とする条件で、見守りや安否確認のみのボランティアを募集し比較的若い年代の方が活動している ・町会や包括支援センターの協力で小学校への認知症の授業と模擬捜索の授業を行った。来年以降も実施の予定
東央部第2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・町会と学生と一緒に災害時の対応について無線を使った訓練をしている
東央部第2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・町会のお祭りを子ども達と積極的に行っており、灯籠流しも生徒が作ったものをお寺と協力して海に流している
戸井	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のある地区の町内会と合同で避難訓練を実施している
恵山	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りで高齢者と若い世代と一緒にカラオケ大会を実施している
楯法華	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバンドのコンサート案内を地域に出している ・施設では入所者を定期的に旧市内のショッピングモールへ買い物ツアーに連れて行き、買い物や食事をしている
南茅部	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業閑散期に地域住民がスキー学校に協力している ・漁協や水産会社の協力で、地域の小学校が合同で海浜学習や船に乗せてもらう等の活動をしている ・下校時に、登録してる高齢者宅の玄関で子どもが声掛けをして安否確認をしている ・地域住民が寺子屋を実施しており、近隣から多くの子どもが集まっている ・地域の企業が学校のバザーに品物を寄付している

○学校、子ども食堂などで行っている活動

	現 在 行 っ て い る 活 動
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア部による福祉施設や児童館等の訪問やイベントの手伝い ・運動部員が学校近くの高齢者宅の雪かきを実施 ・クリーングリーン作戦（春・秋）などで地域の清掃活動を実施 ・デイサービスの利用者を高校へ招待して食事を開催
大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流をテーマに地域プロジェクトを実施 ・子ども食堂や寺子屋活動への参加 ・授業で町会と連携し、地域のお祭りに出店するなど地域福祉、支え合いの重要性を学んでいる ・物忘れカフェへの参加を通じ、高齢者や認知症に対する理解を深める
子ども食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・正月に餅つき、夏休みに流しそうめん等季節に合わせてイベントを開催 ・食材を提供してくれている農家を訪問し、野菜作り体験等の食育の実施 ・学習支援との連携 ・地域の町会と協力関係を構築し、ボランティアで参加してもらう <p>※子ども食堂としての食事作り、提供以外の活動</p>

○当市の地域福祉を推進するうえでの課題

- ① 世代ごとの考え方や行動の違いについて理解し合い、世代間の交流を活発にするための方策。
- ② 地域活動において同じ人が複数の役割を担っており負担が大きくなっている状況から、核となる人材の養成または確保のための方策。
- ③ 一過性の地域活動にならないために、継続できる仕組みづくりのための方策。
- ④ 地域で活動をしている団体同士の横の繋がりを強化するための情報の集約・提供の方法。
- ⑤ 地域活動を行う拠点を確保するための方策。